

私からひとこと

大橋 誠さん (西古内)

多古町に移住、新規就農して3年、地域の方や町の皆さんからアドバイスと応援をいただく度、移住して本当に良かったと感謝しています。

今回、町の特産品開発事業補助金を受け、ちまきとなれ鮎を作りました。思った以上に初期投資がかかったので助かりました。町には道の駅での販売や広報、講師の派遣など多くの支援をいただきました。

提案として、町の空き家情報を積極的に公開すると、後に続く人が増えると思います。また、こども園のお陰で安心して仕事ができますが、運動会など土日開催にしてもらえると助かりますし、今よりずっと盛り上がると思います。



吉川 修一さん (十余三)

千葉県の農業では施設園芸の促進が求められています。現在の施設園芸に対する様々な補助金は、大規模化をすすめる国の方針から、大手の農家以外は利用しにくいものです。施設園芸は小規模農家が規模拡大をしたり、新規に就農するには初期投資が相当必要です。ここでネックになってくるのはビニールハウスの建設や台風等の被害による修繕の費用です。自治体によってはハウスをリースする制度もあるようです。中小規模の施設園芸農家が使いやすい補助金、支援があると、今後の町の施設園芸も伸びてくると思います。



今年度注目の事業をチェック!

空港シャトルバス運行事業

3,842 万円



所一重委員 現状では空港行きは始発からの3便が多古台発、多古行きは最終からの3便が多古台止まりで、今後は朝の空港行き2便と最終の多古行き1便は役場発着にするようですが、なぜ全便が役場から乗降できないのか。

企画空港政策課長 営業距離や時間、迷惑駐車等による夜間の役場敷地内でのバスの回転が厳しいなどの理由から多古台の始発終着です。

所一重委員 どうすれば障害物を除けるかとの発想を持って、全便が役場から乗降できるよう努力してほしい。

企画空港政策課長 利用者や町民へのアンケートの分析を踏まえ検討します。

歳出(性質別)の割合



その他は、6千万円未満を一括して計上した。
(災害復旧費、積立金、投資及び出資金、貸付金、予備費)

ふるさと寄附金関連

6,503 万円



勝又一徳委員 寄附金額に対する町の実収入の割合と実績は。

財政課長 寄附金額に対して約35%が町の収入となります。実績は、今年度1月末現在で5,256件、6,723万6千円です。今後は返礼品の改良、インターネットサイトによるPRを検討し、更なる増加に取り組みます。

勝又一徳委員 町外に出ていってしまった住民税はどれ程か。

税務課長 町民税の控除としては140万円程度です。

小学校空調設備設置工事設計業務

886 万円



石渡悦子委員 小学校への空調設置の今後の予定は。

学校教育課長 まだ工事費の額がわからない状況ですので、国の交付金の付き次第ですが、平成30年度から順次行っていきます。

道の駅施設改修事業

2,470 万円



石渡悦子委員 道の駅の施設改修の内容は。

産業経済課長 振興施設の部分から外壁補修工事を行います。トイレや情報コーナーの県の管理部分については調整の上、順次行いたい考えです。

石渡悦子委員 工事の財源は。

産業経済課長 あじさい館を運営する株式会社多古からの歳入であるあじさい館使用料等を含む一般財源です。

町道南玉造線道路改良事業

1 億 714 万円



土井清司委員 南玉造線の完成予定は。佐原・八日市場線に接続した先に延伸の計画はありますか。

都市整備課長 平成29年度全筆買収を目標としており、その後3年を目途にと考えています。南玉造線の延伸については、概略設計の予算を計上し、3ルートを検討していきます。